

小中連携だより

第3号
平成27年12月24日発行
立川二中・三小・五小・南砂小

二中校区の小中学校が、同じ思いで子どもを育てる 小中連携活動の充実

五小 校長 井土 満

今年度から児童・生徒の豊かな学びや、健やかな成長を目指して、小学校と中学校がともに協力し、義務教育の9年間を見通した「小中連携」の教育活動を、昨年まで以上に充実させています。例えば新たな取り組みとして、地域学習やキャリア教育を共通の意識をもって取り組む「立川市民科」や、中学校の英語教員が小学校に来て一緒に研修したり、授業をおこなったりする「小中連携外国語活動」を実施してきました。

12月8日には、昨年までも実施していた、校区3校の小学校6年生が、同時に立川第二中学校に行つての「部活動体験」を実施しました。また、新たな取り組みとして、二中学生が自分の卒業した小学校に来て、小学生と一緒に「あいさつ運動」も12月10日に実施しました。

これらの活動を通し、小学生も中学生も、地域での一体となった教育活動を意識することができ、地域や母校を愛する心も育つのではないかと考えます。また、6年生にとっては安心して中学校へ進学でき、4月の入学時から、しっかりと学習や部活に取り組むことができ、学力や体力の向上も図れるはずです。

今後も、二中校区の小中学校が連携を充実させ、同じ思いをもって子どもたちを育てていきたいと思つています。



2学期の取り組み紹介

<小学6年生二中訪問 学校紹介・部活動体験>

12月8日(火)に校区3校の6年生は、小中連携活動の一環で、立川二中訪問を実施しました。学校紹介では、立川二中の生徒会本部役員が二中の生活について分かりやすく寸劇で紹介をしました。6年生に分かりやすく、少しでも面白く伝えようと工夫する気持ちが伝わり、6年生の笑いを誘っていました。その後、希望の部活に分かれて実際に中学生と一緒に活動しました。ここでは、他の小学校の6年生とも触れ合うことも目標にしていたことから、積極的に他の学校の6年生に声をかける姿も見られました。中学生も、来年度の部員獲得に向けての第一歩ですから、丁寧にかつ優しく説明をしてくれました。



部活動体験の様子



<小中連携あいさつ運動>

12月10日の登校時、二中学区の小中学校で、各校の卒業生が数名ずつ来て、小学生と一緒に「小中連携あいさつ運動」を行いました。

連携活動にあわせてのぼり旗を作りました。町の中で、このオレンジ色の旗を見かけたら「小中の連携活動が行われているのだな」と思ってください。

あいさつ運動の取り組みは、今後も継続的に行っていきます。

